

平成 23 年度 校内研究構想（第Ⅱ期 1 年次）

H 2 3 . 4 . 2 5

大田市立富山小学校

- 1 研究主題 自ら学び、心豊かに生きる子どもの育成
— 一人一人に応じた学校図書館活用教育を通して —

2 主題設定の理由

今日の激動する社会情勢の中で、これからの時代を生きていく子どもたちには、今まで以上に自ら学び考える力が必要とされている。一方、子どもたちの生活をみると、幼い頃からのテレビの長時間視聴が続いており、直接体験も非常に少なくなっている。本校は、自然に恵まれた山間部に位置しているが、少子化のため近くに遊ぶ仲間がないということもあり、全国や島根県の平均以上にメディアとの接触時間が長いという実態がある。そのため、家庭・地域と連携しながら、「自ら学び考える力の育成」「豊かな人間性の育成」「基本的生活習慣の改善」を重要課題としている。

学校図書館は、「次世代の知と生きる力を育む宝庫」であり、新学習指導要領を見てもこれからの教育を進める上で重要な柱の一つとされている。また、「子どもの読書活動の推進に関する法律」や「学校図書館法の一部を改正する法律等の施行について」からも、学校図書館活用教育の重要性は明らかである。とりわけ、言葉を学び、コミュニケーションの基礎を学ぶ子どもの時期には、読書は特に重要であり、この時期に読書のすばらしさを体験することによって、生涯にわたって読書をしていこうとする意欲をもたせることができる。

以上のことから本研究主題を設定した。

3 主題の受け止め

自ら学ぶ子どもとは

学習指導要領では、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことが明記されており、「確かな学力」として、自ら学ぶことが重要視されている。また、近年注目されている P I S A 型読解力としても、様々な情報を読み取り、自分で考え、自分の言葉で表現していく力を付けていくことが大切であるとされている。

本校では、自ら学ぶことは、自ら課題を見付け、自ら考え、自ら解決していくことであるととらえる。さらに以下のように段階を得てとらえている。

- | | |
|------|---------------------|
| つかむ | ・課題を見付け、見通しをもつ。 |
| 調べる | ・課題解決のために情報を取捨選択する。 |
| まとめる | ・情報を記録し、まとめる。 |
| 伝え合う | ・互いの考えを伝えあう。 |
| | ・学んだことを活用する。 |

このように学び進めていくためには、情報活用能力が必要となる。

このような力は生涯にわたって「生きる力」として働くものであり、読書は、すべての社会的活動の基礎となる力を効果的に高めることができると考える。

心豊かに生きる子どもとは

心豊かに生きる子どもとは、さまざまなことに感動し、自分の思いを深め、人の気持ちにも思いをはせる子ども、また、自分の思いを豊かに表現して相手に伝えることができる子どもととらえる。

4 研究の目標

暮らしの中で本に親しみ、いろいろな本を進んで読み、活用する子どもを育成するためには、どのような学校図書館活用教育をすればよいのかを明らかにする。

5 研究仮説

発達の段階に応じた学校図書館活用教育を継続的・計画的に行えば、自ら学び心豊かに生きる子どもが育成できるであろう。

6 めざす子ども像

○本に親しみ、いろいろな本を進んで読む子

- ・本を読むことが好きで、学校図書館の本を進んで読む。
- ・じっくりと読み、本の世界に浸ることができる。
- ・文学だけでなく、さまざまな種類の本を進んで読む。
- ・1冊だけでなく次から次へと読み広げることができる。
- ・学校図書館に出入りし、よく借りている。
- ・生活の中で（家庭でも）読書が習慣化している。

○本によって思いや学びを深め、それらを伝え合う子

- ・読んだ本の感想を素直に表現できる。（本の紹介、読書ノート等）
- ・本の楽しさを交流することができる。
- ・本を読むことによって自分の考えを深め、表現することができる。
- ・わかりやすく伝えることができる。
- ・伝え合うことで、自分の考えを深めることができる。
- ・学んだことを活用し、生活にいかしていく。

○必要な情報を得るために図書館を積極的に活用する子

- ・課題意識をもって図書館で進んで調べようとする。
- ・図書館の使い方（調べ方、本の分類、パソコンの使い方等）がわかる。
- ・情報活用能力を身に付けている。
- ・生活の中で分からないことなどがあると進んで調べている。

7 めざす学校図書館像

(1) 読書センターとして

- ・発達段階に応じた興味を持ち感動できる本があり、親しみやすい環境の学校図書館
- ・読書の楽しさを知るきっかけを作ることができる学校図書館
- ・読書活動を広げ、読書体験を深めることができる学校図書館

(2) 学習・情報センターとして

- ・学習に必要な本や情報資料があり、子どもの主体的な学習を支援できる学校図書館
- ・図書館および情報資料の活用方法を指導でき、主体的に学習する能力を育成できる学校図書館
- ・生涯にわたる自学能力の基礎をはぐくむ学校図書館
- ・教職員の教育活動を援助する学校図書館

8 研究内容与方法

(1) 授業での学校図書館の積極的な活用

【学校図書館を活用した授業のあり方を明らかにする】

- ・読書活動との関連や発展を見据えた単元を構成する。
- ・読書の意欲を高める指導過程を工夫する。
- ・必要に応じて情報や資料が活用できるよう、「2班情報活用能力指導計画一覧表」「富山小学校学校図書館活用年間指導計画」を基にし、計画的な学校図書館活用学習を行い、情報活用能力を育てる。
- ・一人一人の読書する力に応じた支援を工夫する。（「大好き！図書館」ファイルの活用、パスファインダー等の利用）

(2) 読書習慣づくり 【一人一人に応じた読書指導を継続的に行う】

①朝読書の充実

②特別活動（学級活動）等

- ・図書館や学級文庫の利用促進（週1時間の図書館活用の時間設定）
- ・学級担任によるブックトーク

③読書の記録

- ・読書ノートを活用

④一人一人に応じた読書指導

- ・個人カルテの利用
- ・読書ノートの継続的な取組
- ・「大好き！図書館」ファイルの活用

(3) 保護者や地域、関係機関との連携

①読書活動の啓発

- ・ノーテレビ、ノーテレビゲームデーの設定
- ・親子読書の勧め
- ・授業公開、講演会
- ・「学校図書館だより」の発行

②大田市立図書館との連携

(4) 魅力ある図書館づくり

(5) 職員研修

①研究職員会議、研修職員会議

②新聞回覧・・・ブックトークの記事

9 検証計画

授業づくり 【学校図書館を活用した授業のあり方を明らかにする】



- ・ノート（感想など）
- ・授業中の発言等の様子
- ・自己評価カード
- ・児童アンケート
- ・「大好き！学校図書館」ファイル

読書習慣づくり 【一人一人に応じた読書指導を継続的に行う】



- ・読書の記録（読書ノート）
- ・児童アンケート
- ・児童の読書の様子
- ・本の貸し出し冊数
- ・保護者アンケート

9 研究計画

4	第Ⅱ期1年次 研究の方向性決定 図書館整備 本の購入計画	朝読書の充実 放課後学習会の 実施
5	児童の実態把握（アンケート、個人カルテ等） 研究構想の策定 全体計画、年間指導計画の見直し 11年目研修 課題研究 計画発表会	課題点を浮き彫りにすることができる 調査項目を考えて実態調査を実施する
6	11年目研修 研究授業（1,2年道徳） 校内研究授業（高鷲先生をお迎えして：1・2年国語） 訪問指導授業教材研究、指導案作成	
7	11年目研修 課題研究 中間発表会 夏季校内研修・作業①（おすすめ本コーナーの整備）	アンケート実施 図書まつり
8	夏季校内研修②（指導力セミナー報告）・図書館整備 11年目研修授研究授業 指導案審議	
9	11年目研修研究授業、訪問指導（1,2年国語）	
10	人権・同和教育校内研究授業（5,6年社会）	図書集会
11	校内授業研究（3,4年）	図書まつり
12	児童の実態把握（アンケート、個人カルテ等） 11年目研修 研究授業（1,2年生活）	アンケート実施
1	11年目研修 課題研究 最終発表会 研究のまとめ 算数科授業研究	図書まつり
2	児童の実態把握（アンケート、個人カルテ等）	アンケート実施
3	次年度の研究計画	

その他 計画訪問指導（2回）